

トルコギキョウの10月～11月出し作型に適した品種の特性

熊本県の平坦地において、6月上旬に播種し夜冷育苗を行い、8月上旬に定植して、10月～11月出し作型で高品質な切り花が得られる中生～晩生のトルコギキョウ10品種を選定した。

農業研究センター農産園芸研究所花き部(担当者:渡辺 功)

研究のねらい

トルコギキョウの10月～11月出し作型では、切り花長と切り花重の確保が課題になっている。そこで、本作型とトルコギキョウの早晩性との適合性を検討するとともに、切り花長や切り花重の確保が比較的容易な品種を明らかにし、10月～11月出し作型での高品質化を図る。

研究の成果

- 1 10月～11月出し作型には、中生もしくは晩生品種を用いると、切り花長や切花重の確保が比較的容易である。
- 2 熊本県の平坦地におけるトルコギキョウの10月から11月出しに適する品種として、「エクセルマリン」「スバルコーラル77」「あすかの萌黄」「つくしの薫」「つくしの春」「エクセルチェリー」「ニュースモールバイオレット」「マイテレディ」「ニュースモールレディ」「ブルーベルミニ24」を選定した。

これらの品種はロゼット化しにくく、切り花長が70cm以上あり、比較的花蕾数も多い。

- 3 これらの品種を平坦地で栽培する場合、6月上旬に播種して夜冷育苗を行い、8月上旬に定植すると10月～11月に採花できる。

普及上の留意点

- 1 トルコギキョウは定植後の灌水量が不足すると生育が極端に劣るので、灌水用の水を確保できる場所を選定し、十分に湿らせた畦に定植し、定植後の灌水を充分に行う。
- 2 トルコギキョウは日照を好むので、10月～11月の日照条件が良いところを選定する。
- 3 本作型は台風に遭遇する危険があるため、その対策を考慮する。

表1 10月～11月出しにおける早晩性と切花品質の差異

早晩性	採花日 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	花蕾数 (個)
早生	10/11	66.0	37.7	4.4	5.5
中生	10/16	70.1	42.5	4.6	4.6
晩生	10/18	73.4	44.5	5.0	4.6

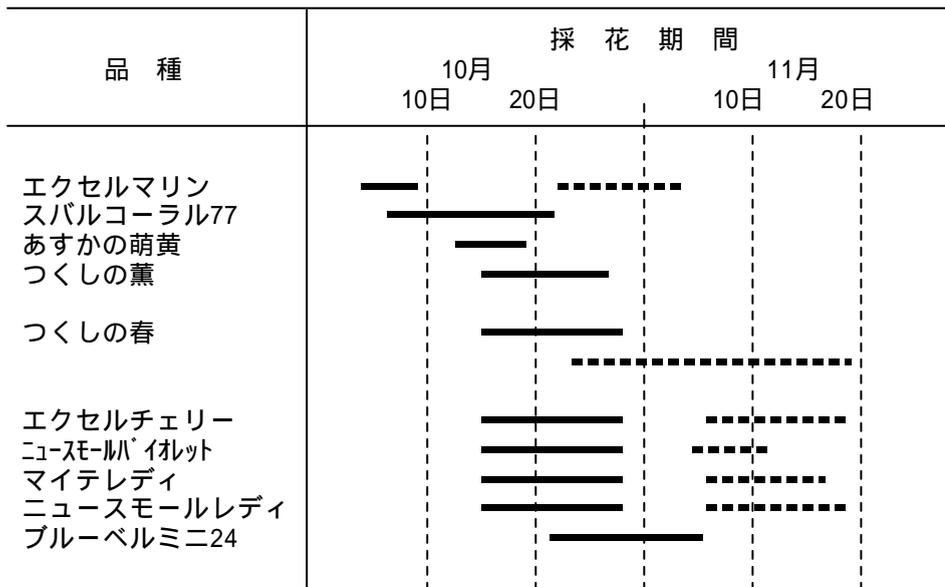
注) 平成10年に供試した早生13品種、中生27品種、晩生14品種の平均。平成10年6月2日播種、14 夜冷育苗、8月3日定植。

表2 10月～11月出しに適した品種の特性

品 種	花色	採花日 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	花蕾数 (個)	ロゼット 化率(%)
エクセルマリン	紫覆輪	10/6	86.3	42.9	5.0	0
スバルコーラル77	ピンク覆輪	10/9	74.2	45.4	7.3	0
あすかの萌黄	薄い緑	10/12	84.7	52.0	5.0	0
つくしの薫	ピンク	10/16	87.1	51.8	5.3	1.9
つくしの春	ピンク	10/17	82.8	51.7	5.2	0
エクセルチェリー	濃いピンク	10/17	78.4	49.0	5.3	0
ニュースモールイレット	濃い紫	10/17	77.5	48.2	4.9	0
マイテレディ	ピンク覆輪	10/19	78.2	49.4	4.9	0
ニュースモールレディ	ピンク覆輪	10/21	78.3	52.4	6.9	1.9
ブルーベルミニ24	紫覆輪	10/27	84.5	59.4	5.0	0

注) 平成10年6月2日播種、14 夜冷育苗、8月3日定植。

表3 10月～11月出しに適した品種の採花期間



注) 実線は平成10年の採花期間。点線は同一品種の平成9年の採花期間。
平成9年は、6月10日播種、14 夜冷育苗、8月4～8日定植。